

## 大学院研究室だより

### 平成22年度 論文博士・修士論文題目と執筆者氏名

論文博士

博士論文

日本語後置文の機能と構造

－対話の情報構造の観点から－…………… 綿貫 啓子

博士前期課程

英語学専攻

修士論文

The Effects of Phonics Instruction on the Reading of English Words by  
Japaness Elementary School Children

…………… 中田 睦子

日本語学専攻

修士論文

日本語と韓国語における非完結相

－事象投射理論からのアプローチ－ …………… 笠原 政

日本語のムードと副詞節に関する階層的分析 …………… 松尾 章

「は」の意味と構造

－イタリア語の文頭表現との比較から－ …………… 尾野ゆかり

## 「言語科学研究センター」(Center for Language Sciences: CLS)

CLS は、今年度が設置10年目にあたり、7月に以下の研究会の項にリストしてありますが、Harvard 大学名誉教授の久野暲先生と CLS 顧問（神田外語大学名誉教授）の井上和子先生を囲んでの2日間にわたる講演会・ワークショップを開催しました。連日、学内外から大勢の方に参加いただきました。来年度には、その発表論文をまとめた論文集が刊行の予定です。

また、CLS では、研究紀要 Scientific Approaches to Language (SAL) を毎年刊行しており、平成22年度末には、第10号が刊行予定です。

CLS の活動の大きな部分は、本学大学院教員および CLS 研究員による公的資金による研究プロジェクトを支援することです。今年度は以下のプロジェクトが進行中です。

- ・『語彙とテキスト理解：読解に関わる語彙知識の多面性と語彙の意味について』日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究 (B)）研究代表者：堀場裕紀江、研究分担者：岩本遠億、木川行央（2008年4月～2012年3月）
- ・『早期英語教育教材に見る語彙と文法の特徴：真に「英語が使える日本人」育成に向けて』日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究 (C)）研究代表者：神谷昇、研究分担者：長谷川信子（2008年4月～2011年3月）
- ・『談話のカートグラフィー研究：主文現象と複文現象の統合を目指して』日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究 (B)）研究代表者：遠藤喜雄、研究分担者：長谷川信子（2009年4月～2012年3月）
- ・『首都圏方言の実態に関する基礎的研究』日本学術振興会 科学研究費補助金（基盤研究 (C)）研究代表者：木川行央（2009年4月～2012年3月）

こうした研究プロジェクトとも関わり、平成22年度には、以下の CLS 主催による研究会（ワークショップ、講演会、など）が開催されました。

CLS の活動や研究会の詳細、発表論文要旨、および研究紀要 SAL 掲載論文など、より詳しくは、CLS のホームページ < <http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/labo/cls/> > をご覧下さい。

## 平成22年度 言語科学研究センター 研究会

<神田外語大学 CLS10周年 言語学講演会&研究会>

70年代「日本語の生成文法研究」再認識—久野暉先生と井上和子先生を囲んで—

日時：2010年7月1日（木） 10:50～18:30

2010年7月2日（金） 10:55～18:30

会場：神田外語大学3号館2階、2号館2階・3階

発表者：

7月1日（木）

- ・長谷川信子氏（神田外語大学）  
開会あいさつ & ワークショップの趣旨説明
- ・長谷川信子氏（神田外語大学）  
日本語の主語：ガ格と人称提示文
- ・藤巻 一真氏（東京国際大学／神田外語大学 CLS）  
副詞と焦点解釈
- ・高橋 清子氏（神田外語大学）  
タイ語の関係節の分類について
- ・富岡 諭氏（デラウェア大学）  
従属文内の主題、賓述（Predication）、および判断理論
- ・中村浩一郎氏（広島女学院大学）  
Contrastive topic-marker としての「は」とスクランブリングとトピック・フォーカス投射
- ・上原由美子氏（神田外語大学）  
恩恵性のない事象における「ていただく」について  
—「～にVしてもらおう」構文の機能的分析から—
- ・ヨフコバ四位 エレオノラ氏（神田外語大学）  
学習過程から理論研究へ、また理論研究から日本語教育へ  
—久野先生の「視点」と「新しいインフォメーション」という概念を中心—
- ・岩本 遠億氏（神田外語大学）

アスペクト解釈と相強制 —井上和子『変形文法と日本語』の現代的意義—  
講演1：井上 和子 先生（神田外語大学名誉教授）  
日本語のモーダルについて

7月2日（金）

- ・長谷川信子 氏（神田外語大学）  
2日目について
  - ・栗原 和生 氏（神田外語大学）  
補文標識と Wh 句の共起関係について：理由を表す Wh 付加詞を中心に
  - ・北川 善久 氏（インディアナ大学）  
顕在統語を再考する
  - ・漆原 朗子 氏（北九州市立大学）  
助動詞「まい」の形態統語的分析
  - ・上田由紀子 氏（秋田大学）  
主語名詞句の統語的位置：モダリティと否定のスコープから
  - ・綿貫 啓子 氏（シャープ株式会社／神田外語大学 CLS）  
日本語後置文から考察する談話の文法
  - ・松尾 章 氏（神田外語大学博士前期課程）  
テ節とナイテ節についての考察—付帯状況と継起の用法を中心に—
  - ・大倉 直子 氏（明治学院大学／神田外語大学 CLS）  
日本語の Applicative —テアゲル構文の分析—
  - ・宮川 繁 氏（MIT）  
脱亜論と日本語文法
- 講演2：久野 暲 先生（ハーバード大学名誉教授）  
二重主語構文と尊敬形マーキング・否定極性表現ライセンシング

<理論言語学ワークショップ>

The Workshop on “the Interface between Syntax and Pragmatics/Semantics”  
with Lectures by Paul Portner

日時：2010年9月11日（土） 9:50～16:45

2010年9月12日（日） 9:50～16:30

会場：神田外語学院3号館7階 プラザ・アズール

共催：グローバル COE プログラム「論理と感性の先端的教育研究拠点」（慶應義塾大学）

発表者：

9月11日（土）

- ・長谷川信子氏（神田外語大学）

Opening

The Role of 'the Speaker' in Syntax

- ・高橋 将一氏（日本大学）

On the Nature of Clausal Complements and the Theory of Movement

- ・古川 幸夫氏（神田外語大学）

Negation over *Because*?

- ・[Lecture 1] Paul Portner氏 (Georgetown University)

Free Choice with Imperatives and Modals

- ・David Y. Oshima氏（名古屋大学）

Semantics and Pragmatics of Japanese Infinitive/Gerund Clauses:

Buttressing or Ambiguity?

- ・川崎 典子氏（東京女子大学）

When a Root Meets a Functional Head - Conflation and Complementation

9月12日（日）

- ・Christopher Tancredi氏（慶應義塾大学）

Opening

Context Incrementation and Discourse Anaphora

- ・中西 公子氏（お茶の水女子大学）

A Compositional Analysis of Free Choice *-Demo* in Japanese

- ・西垣内泰介氏（神戸松蔭女子学院大学）

Short vs. Not-so-short Answers to *Wh*-Questions

- ・阿部 潤 氏 (東北学院大学)

Discourse/Inter-Sentential Anaphora of Null Arguments in Japanese: To Be Pro or Not To Be

- ・ [Lecture 2] Paul Portner 氏 (Georgetown University)

The Gradability of Modals

<言語学講演会・ワークショップシリーズ>

11月25日 (木)、11月26日 (金) : 北海道大学

11月29日 (月) : 東北大学

共催 : 北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院研究院

東北大学大学院文学研究科英語学研究室

1. 特別講義

日時 : 2010年11月25日 (木)、13:00-14:30

会場 : 北海道大学メディアコミュニケーション研究院 (旧言語文化部) 棟6階  
スタジオ付き講堂

講演者 : Cedric Boeckx 氏 (カタルーニャ高等研究所・バルセロナ大学)

演題 : Moving beyond explanatory adequacy

2. ワークショップ : 「日本語モダリティと関連現象」

日時 : 2010年11月25日 (木)、15:00-17:00

会場 : 北海道大学メディアコミュニケーション研究院 (旧言語文化部) 棟6階  
スタジオ付き講堂

コメンテーター : 益岡 隆志 氏 (神戸市外国語大学)、遠藤 喜雄 氏 (神田外語大学)

発表者 :

- ・ 林 恒立 氏 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院博士後期課程)  
「評価を表す副詞「ただでさえ」について—モダリティとの関係から」
- ・ 田中 里実 氏 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院博士後期課程)  
「発話類型のモデルと文末表現」
- ・ 大関 洋平 氏 (北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院修士課程)  
「真偽判断モダリティと推論のスコープ」

- ・遠藤 喜雄氏（神田外語大学）  
「フォーカスのカートグラフィー」

### 3. 講演会

日時：2010年11月25日（木）、18:15—19:45

会場：北海道大学メディアコミュニケーション研究院（旧言語文化部）棟6階  
スタジオ付き講堂

講演者：益岡 隆志氏（神戸市外国語大学）

演題：名詞修飾節と文の意味的階層構造

### 4. Workshop: New Perspectives of Generative Grammar

日時：2010年11月26日（金）、9:00-10:30

会場：北海道大学メディアコミュニケーション研究院（旧言語文化部）棟6階  
スタジオ付き講堂

コメンテーター：Cedric Boeckx氏（カタルーニャ高等研究所・バルセロナ大学）、遠藤 喜雄氏（神田外語大学）

発表者：

- ・川原 功司氏（藤女子大学）  
Antecedent Contained Deletion and Non-Argumental Gaps
- ・大関 洋平氏（北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院修士課程1年）  
Metalinguistic negation as negation in split CP
- ・三好 暢博氏（旭川医科大学） & 戸澤 隆広氏（北見工業大学）  
Feature inheritance and EPP satisfaction

### 5. 連続講演会：Cartographic Approaches to Generative Syntax

日時：2010年11月26日（金）、18:15-21:00

会場：北海道大学メディアコミュニケーション研究院（旧言語文化部）棟6階  
スタジオ付き講堂

講演者と演題：

- ・遠藤 喜雄氏（神田外語大学）

The cartography of non-root sentences

- Guglielmo Cinque 氏 (ベニス大学)

Word order typology: The syntax of DPs, with particular reference to adjectives

- Cedric Boeckx 氏 (カタルーニャ高等研究所・バルセロナ大学)

Cartography and other current linguistic practices in the context of cognitive science and biolinguistics

6. ワークショップ: 「ミニマリズムとカートグラフィーのインターフェイス」

日時: 2010年11月29日 (月)、9:30-16:30

会場: 東北大学文学研究科研究棟2階 (川内南キャンパス) 大会議室 (219室)

コメンテーター: Cedric Boeckx 氏 (バルセロナ大学)、Guglielmo Cinque 氏 (ベニス大学)、遠藤 喜雄 氏 (神田外語大学)

発表者:

- 江本 博昭 氏 (東北大学大学院文学研究科専門研究員)

Transfer domains

- 北田 伸一 氏 (東北大学大学院文学研究科後期課程)

Passive as a consequence of feature inheritance

- 中村 太一 氏 (東北大学大学院文学研究科専門研究員)

Feature inheritance and phase-driven head movement

- 大倉 直子 氏 (神田外語大学言語科学研究センター非常勤研究員)

Passivization in ditransitives and honorifics

- Cornelia D. Lupsa 氏 (岩手県立大学)

Romanian sentence adverbs and root complementizers

- 西山 國雄 氏 (茨城大学)・小川 芳樹 氏 (東北大学)

Auxiliation, atransitivity, and transitivity harmony in Japanese V-V compounds

- Cedric Boeckx 氏 (カタルーニャ高等研究所・バルセロナ大学)

Minimalism vs. minimalism: The notion of 'phase' as a case study

- Guglielmo Cinque 氏 (ベニス大学)

Toward a unified analysis of relative clauses